



矢部小だより

文責 徳山 晴一



前期後半が始まりました！

長かった夏休みが終わり、8月25日(金)から前期後半の教育活動が始まりました。前期後半の学校生活を始めるに当たり、全校朝会を行いました。まず、夏休みを振り返り、子ども達に「楽しい思い出はできたか」「夏休みの計画は実行できたか」を尋ねました。一つ目は、全員が「できた」と答えましたが、二つ目は、「できた」と答えた子どもは3分の1くらいでした。そこで、「なぜ、目標や計画を決めるのか」について話をしました。①自分がすることを自分で決める(主体性)②友だちと認め合い、励まし合いながら進める(協働性)③「できた」「もう少し」「次は」など達成感を味わったり、新しい目標を見つけたりできるという3つの価値を話しました。

次に、「成功の反対は何でしょう」と、子ども達に問いかけました。ほとんどの子ども達は、「失敗」と答えました。そこで、成功の反対は失敗ではなく、「何もしないこと」だと話しました。その理由は、「失敗からはたくさんのことを学ぶことができる」「失敗は次のチャレンジにつなげることができる」「失敗は、あきらめなければ終わりではない」ことを伝えました。

子ども達には、夏休みや7月までを振り返って、新たな目標や計画を立て、失敗を恐れず勉強や生活、運動にチャレンジしてほしいと思います。

平和学習を行いました！

8月9日(水)に「平和学習」を行いました。まず、全校朝会で、8月9日が矢部小学校の登校日になった理由を考えさせました。次に、長崎市と広島市の原爆による被害や太平洋戦争での被害について説明しました。そして、「あなたは、平和な日本にするために何ができますか」と問いかけ、「皆さんには、原爆や戦争のことを学び、忘れないこと」ができるという話をしました。

その後、1年生～4年生は、「長崎の子ウマ」とうアニメーションのDVDを視聴しました。5年生と6年生は、テレビで放送された原爆に関するドキュメンタリー番組を視聴し、原爆の威力や被害、平和の大切さについて話し合いました。



【1～4年生DVD様子】



【被爆された方の証言】



【被害状況の説明】

愛校作業・そうめん流しがありました！

8月19日（土）の9時40分から愛校作業を行いました。たくさんの保護者の方に参加いただき、普段は子ども達ではできない教室や廊下の窓を中心に掃除をしていただきました。子ども達も、お父さんやお母さんが一緒ということで、いつもよりも張り切って掃除に取り組んでいました。お陰様で、教室や廊下の窓が大変きれいになりました。また、運動場の雑草も刈っていただき、きれいになった校舎や運動場で学習や運動ができるようになりました。児童の皆さん、保護者の皆さん、ありがとうございました。

11時過ぎからは、ランチルームの東側で小中合同のそうめん流しがありました。そうめんや竹の流し台は、小中学校のPTA役員さん方に準備・協力していただきました。子ども達は、流れてきたそうめんをすくい取り、コップに入ったつゆをつけてロー杯にほおぼっていました。また、時々流れてくるブドウなども上手にキャッチして美味しそうに食べていました。子ども達は、家庭で味わうそうめんとはひと味違った夏の味を楽しむことができました。ご協力いただいた役員・保護者の皆様にお礼申し上げます。



【教室や廊下の窓】



【ランチルームの床】



【運動場の草刈り】



【そうめん流しの様子】

小中合同で浮立に取り組んでいます！



11月18日（土）の本番に向けて、小中合同で浮立の練習に取り組んでいます。今年は、矢部小学校の全学年が参加します。8月28日の練習からは、1・2年生も練習に参加しました。浮立保存会の皆さんの指導の下、中学生のリーダーシップとフォローで、小学生も自分の役割や動きを身につけています。このような取組ができるのも、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰です。